

市政施行 20 周年記念事業

～東武日光駅前広場～ 路面電車の内部を公開します！

令和2年3月から東武日光駅前広場に静態展示している路面電車(東武100形電車)の内部を、8月8日(金)に公開します。ご来場の方、先着500名様に当時の写真と路線が記載された「電車カード」を配布します。

1. 公開日時 令和7年8月8日(金) 午前10時～午後4時
※雨天、強風など天候不良等の時は中止します。
2. 開催場所 東武日光駅前広場
3. 参加料 無料
4. 定員 なし(混雑時入場制限あり)
5. 駐車場 なし(公共交通機関をご利用ください)



▶日光軌道線

1910年(明治43年)8月10日、古河鋳業(現 古河電気工業)日光電気精銅所の貨物輸送を主目的として日光電気軌道株式会社が“停車場前～岩の鼻間”で開業したもので、当初から日光地域の観光輸送の一翼を担っていました。

その後、1947年(昭和22年)の会社合併により東武日光軌道線となりましたが、旅客数や貨物数の激減により、1968年(昭和43年)、58年の歴史に幕を閉じました。

▶展示車両

1953年(昭和28年)から1968年(昭和43年)の間、日光駅前から馬返までの全長10.6kmを走った東武100形電車10両のうちの1両を当時の姿に復元したものです。

【電車カード表面】



【電車カード裏面】

東武鉄道日光軌道線

形式番号：100形
定員：96名（内座席28名）
客室面積：20.60㎡
最大寸法：12,350×2,200×3,552mm
自重：15.0 t
運行期間：1910年～1968年

馬 返
横 手
清 滝
丹 勢 下
古河7km前

日 光
東武日光
石 屋 町
警察署前
市役所前

電車線前 安良沢 花石町 田母沢 西参道 公会堂前 下河原 神 橋

日光軌道線の歴史

西暦	概 要
1910年	停車場前（後の国鉄駅前）～岩の鼻間8.0km営業開始
1913年	岩の鼻～馬返間2.2km延伸、全線開通
1933年	停車場前～松原町（後の東武駅前）間ループ線となる
1953年	新車100形10両導入（100形101～110）
1954年	連接車200形6両導入
1964年	国鉄駅前～東武駅前間のループ線運転廃止
1968年	日光軌道線廃止
1968年	岡山電軌が100形10両を2年かけて買収
2013年	109号が日光市の観光施設に寄贈される
2019年	109号が日光市に寄贈される

撮影写真：中谷文夫氏 提供：東武博物館

【本件に関する問合せ先】

日光市地域振興部 日光行政センター地域づくり推進係 担当：印南

電話：0288-54-1112 MAIL：nikko-chiiki@city.nikko.lg.jp